

2019年5月16日
日本郵便株式会社

特殊切手「世界遺産シリーズ<第12集>『長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産』」の発行

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 横山 邦男）は、世界遺産シリーズ第12集として、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を題材とした特殊切手を発行します。

1 発行する郵便切手の内容

名 称	世界遺産シリーズ<第12集> 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」
発 行 日	2019年7月12日(金)
種 類	82円郵便切手
切 手 画 像	別紙のとおり
シート構成・意匠	<p>(1) 原城跡 (2) 平戸の聖地と集落(春日集落と安満岳) (3) 平戸の聖地と集落(中江ノ島) (4) 天草の崎津集落 (5) 外海の出津集落 (6) 外海の大野集落 (7) 野崎島の集落跡 (8) 頭ヶ島の集落 (9) 久賀島の集落 (10) 奈留島の江上集落(江上天主堂とその周辺)</p> <p>シート右上:黒島の集落 シート左上:大浦天主堂</p>
売 価	1シート820円
小切・印面寸法	縦28.0mm×横36.5mm
シート寸法	縦140.0mm×横212.5mm
写 真 摂 影	(4)、(7) 日暮 雄一
切 手 デ ザ イ ン	山田 泰子(切手デザイナー)
版 式 刷 色	オフセット6色
発 行 枚 数	500万枚(50万シート)
販 売 場 所	<p>・全国の郵便局等 ・「郵便局のネットショップ」^(注) ・銀座郵便局での郵便振替による通信販売</p>

2 世界遺産シリーズについて

人類共通の文化遺産及び自然遺産の国際的保護を図る目的で採択された「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」に基づき登録された、日本の世界遺産を題材として発行するシリーズ切手です。

過去にも「世界遺産シリーズ」としてシリーズ切手を発行しており、現在のシリーズは、2004（平成 16）年以降に新しく登録された日本の世界遺産を題材として、2006（平成 18）年以降第 1 集から第 11 集まで発行しています。

3 発行する郵便切手のデザインについて

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、17 世紀から 19 世紀までの 2 世紀以上にわたるキリスト教禁教政策の下で、ひそかに信仰を伝えた人々の歴史を物語る他に例を見ない証拠です。長崎と天草地方の潜伏キリシタンが「潜伏」したきっかけや、信仰の実践と共同体の維持のためにひそかに行なったさまざまな試み、そして宣教師との接触により転機を迎え、「潜伏」が終わりを迎えるまでを 12 の構成資産によって表わしています。

今回は、12 の構成資産全ての写真を切手シート内に配置しました。各写真の周りを金色で縁取り、華やかなデザインにしています。

4 その他

通信販売等の販売概要、郵趣のための記念押印サービスについては、ゆうびん.jp でお知らせします。

【注釈】

（注）「郵便局のネットショップ」への掲載は、2019 年 7 月 12 日（金）を予定しています。

以上

【お客さまのお問い合わせ先】

日本郵便株式会社

お客様サービス相談センター

0120-2328-86（フリーコール）

携帯電話から 0570-046-666（有料）

＜受付時間 平日 8:00～21:00

土・日・休日 9:00～21:00＞